

総合診療医
ドクターG
(NHK)に出演

鈴木富雄 医師による

総合診療 ワークショップ

『病気だけでなく 人を診るということ』

「患者さんと真正面から向き合い、心理社会背景も含めて総合的に診る」「病気だけでなく人を診る」という総合診療の本質について、鈴木医師が熱く語ります★
さらに、医系学生同士で、ディスカッションを通じて学びを深め、交流しませんか？

2018年5月12日(土) 13:30~17:30

会場 神戸市産業振興センター レセプションルーム

対象 医学生、看護学生、薬学生、歯学生、
医師をめざす高校生・予備校生

参加学生の感想

聞き流してしまいそうなささいな情報も、医師として、人に対する関心を忘れずに、どんどん掘り下げていかないとだめだと気付いた。
(兵庫医科大学1年生)

看護からの視点だけでなく、自分が思いつかなかった視点から意見をたくさん聞くことができ良かったです。患者を見た目で判断せず、心の内を聞くことは本当に大切だとわかりました。
(関西看護医療大学3年生)

色々な立場の人と話すことができ、視野を広く持つことだけでなく、みんなで患者さんを診る大切さがありました。自分とは全く違った人生を送ってきた人について考えるのは、想像力が重要なのもよくわかりました。
(須磨学園高校3年生)

お申込み・お問い合わせ

Email : igakusei@hyogo-min.com 兵庫民医連 医系学生担当 まで
件名に「鈴木富雄医師講演参加希望」と入力の上、本文に「氏名・学校名・学部学科・学年・住所・電話番号(当日も連絡のつく番号)」をご記入のうえ、お申込みください。
(右のQRコード、または、ホームページからも申込可能です)



まらり看護学生

発行/兵庫県民主医療機関連合会 看護学生委員会 〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-3-7
Tel: 078-303-7351 Fax: 078-303-7353 E-mail: kangakusei@hyogo-min.com

看護学生のための情報誌

まらり看護学生

2018年 4 5 月号

看護学校への入学・進級おめでとうございます。この一年も「まらり看護学生」をよろしくお願いします！



02・03 看護の現場より— 福貴 友見さん(共立病院)

04・05 特集: 平和だからできる わたしたちの看護

06 私の出会った患者さん— 菅 彩奈恵さん(尼崎医療生協病院)

07 ほっとStation

08 鈴木富雄医師による
総合診療ワークショップのご案内

Series 看護の現場より

看護学生のみなさんに、私たちが日々看護を
実践している現場での奮闘ぶりや、看護に
対する熱い思いをシリーズで紹介します。



病棟から在宅へつなぐ看護

共立病院(姫路医療生活協同組合)
病棟看護師 福貴 友見さん

■ はじめに

共立病院に就職して11年目。ずっと外来で、訪問診療(往診)担当として働いていました。今は病棟へ異動して1年半、戸惑いもありましたが、楽しく元気に働かせてもらっています。今回は、そんな私の働いている病棟をご紹介します。

■ 地域包括ケア病床について

共立病院の病棟は、44床の1病棟で、そのうち地域包括ケア病床が30床あります。

地域包括ケア病床は、急性期医療を終了後、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さまに在宅復帰に向けて診療・看護・リハビリを行うことを目的とした病床であり、また、在宅療養中の患者さまに入院が必要となった時に、在宅医から依頼を受けて在宅復帰を支援する病床です。

当院では訪問診療を実施していることもあり、在宅からの入院患者さまも多くいらっしゃいます。退院しても住み慣れた場所で安心して生活できるように…入院中から退院後(在宅)まで継続して関わっています。

■ 多職種連携でサポート

入院中は様々な職種が意見を出し合い、一人の患者さまに向き合っています。

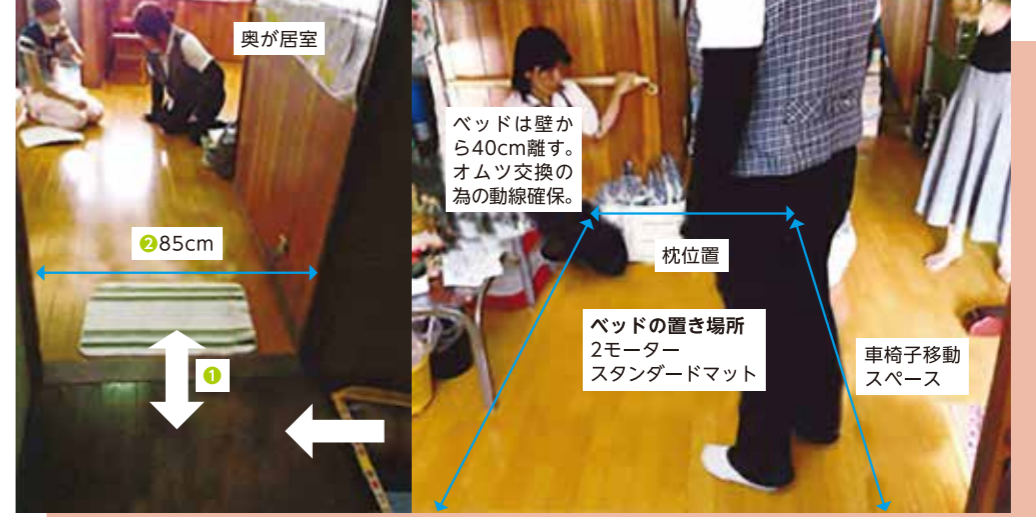
NST(栄養サポート)グループ・認知症グループ・DMグループなど専門グループも活動し、多職種が連携しながら患者さまの治療や看護にあたっています。

連携は病院内だけではなく、退院の目処がいたら実施する「退院前訪問」では福祉



病棟夏祭り

土間⇄居室の動線
①スロープで上がったところの廊下と居室間はフラットでスムーズに移動可能
②廊下と居室入口の幅85cmで車椅子移動もスムーズ



退院前訪問: レンタル、リハスタッフも同行

用具レンタル・訪問看護師などと連携し、退院後の生活の場を実際に見て、必要なサービス内容について検討をします。また、退院前には「サービス担当者会議」を開催し、患者・家族さまをはじめ、主治医・看護師・リハビリスタッフ・連携室スタッフ、ケアマネジャー、訪問看護師、ヘルパーなど、病院スタッフと退院後に受けるサービスの担当者が集まって情報共有し、入院中から継続した支援をうけ、安心して退院後の生活が送れるように調整をしています。そして、退院後には「退院後訪問」として病棟看護師が退院先に伺い、その後の生活がどうか患者・家族さまや施設のスタッフからお話を聞いたりしています。多職種で連携し、さまざまな立場の視点を生かして意見交換しながら、患者さまに対する日々のケアやサポートに活かしています。

■ とびきりの笑顔のために

病棟にいると病気があって入院されているので弱っ



退院前多職種カンファレンス



病棟学習会

ている患者さまと向き合うことがほとんどです。患者さまにとっては、入院されている姿が本当の姿ではなく、自宅で生活されている姿が本当の姿です。退院後訪問させていただいた時、生き生きとした表情をされていたり、とびきりの笑顔で生活されています。そのような感動を、病棟の看護師達にも見てもらい、今まで以上に自宅での生活を意識した看護に結び付けて貰えたらと思っています。

また、再入院された時も、ご自宅での生活風景を思い出して、その人に合ったその人らしい生活ができるような環境に退院できるように退院指導し、支援させていただきたいと思っています。

平和だからできる わたしたちの看護



最近、「改憲」という言葉を目にすることが多くなりました。
「なぜ改憲するの?」「憲法が変わると、一体どうなるの?」
「そもそも憲法って、わたしの暮らしや仕事に関係あるの?」
知っているようで知らない憲法のこと、一緒に考えてみませんか?

そもそも憲法ってなに?

現在の日本国憲法では、生まれつき誰もが尊重され、命が守られ、自由に幸せを求めて生きていけることを、もっとも大事な人権としています。その人権が保障されるための条件として挙げられているのが、「平和であること(9条)」、「健康で文化的に生活ができること(25条)」です。この条件を満たすために政治を行うことを、権力を持つ国家に求めるものが憲法です。

憲法9条

- 1.日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- 2.前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

憲法25条

- 1.すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
- 2.国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

ほかの法律と違って、憲法は国が守らなければならないルールです!



当たり前だと思っていたけど、あたしの毎日は憲法に守られているんだね!



「二度と戦争を起こさない」切実な思いから生まれた9条

多大なる犠牲を生んだ第二次世界大戦の反省から、「戦争を一切放棄する」と決めたことこそが戦後の大きな出発点でした。

「あたらしい憲法のはなし」(1947年・文部省)より引用

よその國と争いごとがおこったとき、けっして戦争によって、相手をまかして、じぶんのいいぶんをおそうとしないということをきめたのです。おだやかにそうだんをして、きまりをつけようというのです。なぜならば、いくさをしかけることは、けっきょく、じぶんの國をほろぼすようなはめになるからです。また、戦争とまでゆかずとも、國の力で、相手をおどすようなことは、いっさいしないことにきめたのです。これを戦争の放棄というのです。そうしてよその國となかよくして、世界中の國が、よい友だちになってくれるようにすれば、日本の國は、さかえてゆけるのです。

9条があるからできる 武力じゃない国際貢献

憲法9条2項の「戦力の不保持、交戦権の否認」は、自国を守るための戦力さえも持たないという世界でも類を見ないものです。その精神は世界の平和と友好に大きく貢献しています。

アフガニスタン東部で
用水路建設に取り組んできた中村 哲医師

「病人は病ではなく水のために死んで行く。水が不足しているので汚い水を飲む。そして病気に感染する。充分食べていなくて体力がないためあっけなく何でもない病気で命を落とさなければならない。」「戦よりも食

料自給。戦争をする時間があれば、食料を作れと言いたい」「武器など絶対に使用しないで、平和を具現化する。それが具体的な形として存在しているのが日本という国の平和憲法、9条ですよ。それを現地の人たちも分かってくれているんです。だから、政府側も反政府側も、タリバンだって我々には手を出さない。むしろ、守ってくれているんです。9条があるから、海外ではこれまで絶対に銃を撃たなかった日本。それが、ほんとうの日本の強みなんですよ。」(講演報告より引用)



世界では平和外交の流れに

今、世界ではもめごとを話し合いで解決する努力がされています。北朝鮮の核問題でも、韓国が対話を重ねることで解決への糸口を模索しています。

また、昨年国連で核兵器禁止条約がつくられました。世界を核の脅威から解放するのは、ノーベル平和

賞を受賞した「ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)」など、平和を求める市民の声です。

もちろん一筋縄ではいかないかもしれませんが、戦争を回避するためには、粘り強く対話を続けるしかありません。

看護師からのメッセージ

ある研修の憲法学習会で、「私たちは誰もが政治や憲法に無関心でいられても、無関係ではいられない」という言葉が心に強く残っています。患者さんと一緒に笑ったり、休日に映画を見たり出来ることは平和だからで、当たり前ではないことを最近しみじみと感じています。今の私に出来ることは、このことを学生さんや職員に伝え一緒に考えることだと思っています。みなさんも、ぜひこの記事を読んで“関心”をもってくださいね。

(看護師・Fより)

私は、患者の願いに寄り添い、その人らしく「生きる」を支えることが、民医連看護そのものだと思っています。人々の幸福と健康のために、日本国民が平和でなくてはなりません。戦争という手段では何も解決はしないのです。9条を守り抜くことが私たちに課せられた大切な活動であり、願いです。難しく考えないでください。私たち看護師の仕事は、人と命に向き合う仕事です。だから、人の命を奪いかねない憲法9条の改憲に加担してはいけません。まずは、自分たちが「今できること」を一人一人が考え、行動に移すことで、日頃私たちが大切にしている民医連看護につながるとしています。

(看護師・Tより)



すべての人が人間らしく、たとえ病気になったとしてもその人らしく生きていけるようサポートすることが、わたしたち民医連が何よりも大切にしている医療・看護です。個人の命と自由が大切にされ、平和と民主主義を掲げる日本の憲法を守り活かすことは、日々の看護と繋がっています。

私の出会った患者さん



尼崎医療生協病院
内科急性期病棟 1年目
菅 彩奈恵さん



【患者さん紹介】
A氏/70歳代/女性/ADL全介助
重症の肺炎にて、敗血症ショックと呼吸不全の状態に陥り、気管挿管。その後、呼吸不全は改善し抜管。しかし、マージンチューブを自己抜去するなどの不穏症状がみられたため、鎮静剤を使用してコントロールができ、在宅に帰ることができた。

で患者さんの安静と安全を守ることができました。

その出来事から4日目に受け持ちとなった私は患者さんの元へ行きました。私の事は覚えていないだろうと思っていましたが、「あなたの顔覚えてる。管を抜いた時ほんとに怖かった。私すごく寂しかったの。優しくしてくれてありがとう。」と言葉をいただき、驚きました。私はAさんに対して何もできなかった自分に反省していました。患者さんから「ありがとう」という感謝の言葉をもらい、自分の関わりが少しでも患者さんの心に寄り添えた気がしました。

患者さんから学んだこと

この事例から、不穏症状がある患者さんとの関わりが、いかに難しいかを学びました。そして、患者さんはどんな状態であっても、看護師の関わりを覚えて感じとってくれているとの思いで、看護する事が必要だと再確認しました。

内科病棟では様々な患者さんがおられ、毎日たくさん良い刺激をもらっています。まだまだ勉強することはたくさんありますが、看護師という仕事はやりがいのある素敵な仕事だと思います。



一年目研修を修了した同期と一緒に

用語説明

HCU…high care unitの略。高度治療室。ICU治療室と一般病棟の中間に位置する。ICU…intensive care unitの略。集中治療室。

読者の声

ありがとうございます！現場の声、今後もみなさんにお届けしていきますね(^_^)

毎回、現場の声が聴けて看護職に対する思いが強くなっていきます。(看護学生・こりょ)

早く大学生になって楽しむ！間違い探し難しすぎ(笑)(高校生・ナースさん)

ですよね…！私もチャレンジしたけれど難しかったです。大学生生活、楽しむべし!!

第107回看護師国家試験が終わりました！一般問題かと思うような必修問題も多く、難しかったです。肩の荷が下りて、ホッとしています。改めてアセスメントの重要性を感じました。合格発表ドキドキですが、春から看護師として頑張りたいと思います。(看護学生・minakana)

国試、お疲れ様でした！4月からは看護師としてのスタートですね☆これからもずっと応援しています！

春から看護大学に通います。すごく楽しみです。(高校生・まーち)

まーちさん！4月からワクワクドキドキの大学生活が始まりますね！応援しています！

みっちさんのモチベーションは、必ず受験突破に活きてくると思います!!応援しています!

日を増すごとに、どんどん看護師になりたいと思う気持ちが強くなってきています！まずは大学受験頑張ります！(高校生・みっち)

私たちが大事にしている地域医療に興味を持っていただけてうれしいです！これからもどんどん発信していきますね!

地域に寄り添った医療、看護のあり方を知ることができ、とても勉強になりました。もっともっと知りたいです！(高校生・さっちゃん)

ボランティア活動を積極的に行って、すごいと思った。(高校生・匿名希望)

まちがいがし苦戦しました…作成者に喝！も、もとい あっぱれ!!(看護学生・ミルクリスピー)

これに懲りず、ぜひ今月もまちがいがしにチャレンジして下さいね(^_^)

ありがとうございます！いろんな経験や学び、出会いがたくさんあり、毎回得るものも多いです(^_^)

活動の記録を読むのが楽しいです。参加者の方たちの感想はそれぞれちがっていて、いろんな視点から雰囲気を感じることがができます。(高校生・まあり)

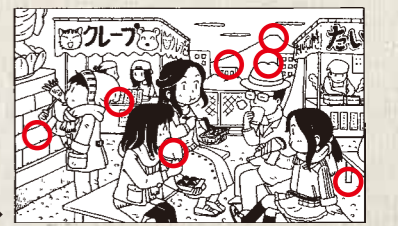
今後も看護現場も学生企画もみなさんにしっかり発信していけるよう編集委員一同がんばります!



7つのまちがい

【問題】上の絵と下の絵では7つのまちがいがあります！どこでしょう？(作・野上和彦)
前回のまちがいがしへの答え→

同封の返信ハガキに答えを書いて応募してください。応募いただいた正解者に抽選で図書カードをプレゼント！6月10日(日)必着。当選の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



編集後記

3~4月にかけて、卒業や入学シーズンですね。そして、花粉症のみなさま、とっても辛い時期に入っていますね…！いろんな意味で涙目になる季節ですが、4月という1年の大きな節目を活用して、「さあ、この1年も頑張るぞ！」と決意新たに頑張りたいと思います♪(H)